

# しらとり 通信

令和7年2月 しらとり保育所



令和7年が始まり、今年度も残り1か月余りとなりました。今年の冬は冷え込みが厳しく、雪遊びができる日も多くはありませんが、子どもたちは元気いっぱい、3歳以上児クラスでは凧揚げを楽しんだり、小さいクラスも庭で追いかけてっこをしたりして遊んでいます。

一日一日を大切に、遊びを通して私たち保育者も互いに学び合いながら、皆様とともに子どもたちの育ちを支えていきたいと思ひます。今年もよろしくお願ひいたします。



## げんき！ゆうき！こんき！

『“げんき・ゆうき・こんき” 3つの「き」を育てよう』  
～子どもが自ら遊んだり生活したりする環境づくり～

「遊びの中に学びがある」、先日受講した研修のテーマでした。知識量を増やしていく小学校以降の学びと違い、幼少期の学びは遊びの中にあります。子どもたちが安心安全な環境の中で、ワクワクしながら探求し、様々な体験や生活を通して体と感性を育てていくことが大切です。そして乳幼児期の学びを土台に、小学校での学びに接続していきます。

この時期、小学校就学を控えた年長児の姿にぐっと成長を感じるが増えました。年長児がトランプをしている輪の中に、面白そうと3歳児の子どもが入って来た時、ルールが分からない様子を見て、「次、一緒にやるから、少し待っててくれる？」と言葉で伝え、3歳児も「うん」と待つことができました。その中に、保育指針の「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」の多くが含まれていることを改めて感じました。

そして、さらに成長を感じる事として、年長児の給食の量！活発に活動する分、しっかりおなかのすくリズムができ、ほとんどの子どもがおかわりをして食べます。気持ちのいいほどです。

そんな年長児の姿に、4歳児や3歳児は憧れのまなざしを向けます。こま回しを教えてもらったり、バスケットボール遊びに混ぜてもらったりして満足そうです。年長児には、様々な関わりを通して自己肯定感を感じ、向上心や人を思いやる気持ちが伸びていくことを期待しています。

「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」  
(保育所保育指針より)

- ア 健康な心と体
- イ 自立心
- ウ 協同性
- エ 道徳性・規範意識の芽生え
- オ 社会生活との関わり
- カ 思考力の芽生え
- キ 自然との関わり・生命尊重
- ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ケ 言葉による伝え合い
- コ 豊かな感性と表現



年長児が目隠しを結んでくれました。福笑いでみんなで大笑い！

「こうやるとうまくできるよ」と紐ごまの巻き方やこま回しのコツを教える年長児。



きりん組でつくったすごろくにこぐま組の子どもも興味津々。年長児が順番を教えています。

## 不要なタオルや綿の衣類はありませんか？

保育所では、多くの雑巾やウエスを使用しています。ご家庭に雑巾（サイズの規定なし）やウエスにしてもよいタオル類等がありましたら、保育所までお寄せいただくと喜びます。